

## 日米同盟新たなステージ 戦略的な役割と責任

3月19日、ワシントンでトランプ米大統領と高市総理による日米首脳会談が行われました。中東情勢、特にイラン情勢やホルムズ海峡の安全確保を踏まえ、エネルギー安定供給に向けた日米連携の強化で一致しました。これは日本経済と国民生活に直結する重要な合意です。

### 《安全保障は新たな段階へ》

会談では「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた方針も確認されました。中国・北朝鮮への対応や、ミサイル開発を含む防衛協力の深化で一致しました。安全保障環境が厳しさを増す中、日米同盟は新たな段階に入りました。この背景には、中国の台頭に対する強い警戒があります。南シナ海における動向を踏まえ、多国間連携による抑止力の強化が進んでおり、「自由で開かれたインド太平洋」はその中核戦略と位置付けられています。

### 《資源と技術の戦略的連携》

経済分野では、重要鉱物のサプライチェーン構築、AIなど先端技術分野における協力強化が大きな柱となりました。

南鳥島周辺のレアアース泥を含む海洋資源の開発も重要なテーマです。重要鉱物の安定確保に向け、強靱な供給網を日米で構築していきます。これにより、輸出規制や

供給途絶への備えも強化されます。次世代型原発の小型モジュール炉（SMR）を含む戦略的投資イニシアティブの第2弾も発表され、エネルギーと産業の両面での協力が加速しています。

さらに、宇宙・半導体・AI・クリーンエネルギーといった分野での連携は、**安全保障と経済を一体で捉える「経済安全保障」**の時代を象徴するものです。

### 《日本の役割》

今回の会談は、日米同盟をかつてないほど強固なものにし、「不可欠なパートナー」へと日本の役割を広げています。

ハガティ上院議員の主導により、日米同盟の重要性を再確認する決議が上院で全会一致で採択されました。これは2015年安倍総理訪米以来の動きです。

今後、日本にはより大きな責任が求められます。資源・技術・安全保障を一体で捉えた国家戦略が不可欠です。日米同盟を基軸に、日本の強みを活かし、世界の安定と成長に貢献していくことが問われています。

### 《くらしを守るために》

ホルムズ海峡を巡る情勢は日々変化しています。日本も機動的な対応を進めています。**ガソリン価格への激変緩和措置**は3月19日から開始され、ガソリンには約3

0円、軽油には約47円の支援が行われています。国家備蓄146日分、民間備蓄87日分（3月23日時点）を活用し、安定供給の維持を図っています。

ナフサなど石油製品の確保も重要です。ナフサはプラスチックや合成繊維、合成ゴム、洗剤、塗料など、私たちの生活を支える幅広い製品の原料です。そのため、供給途絶に備えた備蓄の強化や調達先の多角化、国内精製・流通体制の維持強化を進め、安定供給を確実にしていくことが不可欠です。

### 《日本に求められること》

当初、英・仏・独・伊・蘭・日本（6カ国）で始まった共同声明は、現在30カ国へと賛同が拡大しています。ホルムズ海峡における民間船の安全回廊の設置に向け、国際社会と連携しながら、一日も早い実現を目指してまいります。

今後、日本には、資源・技術・安全保障を一体で考える戦略が求められます。日米同盟を基軸に、日本の強みを活かし、世界の安定と成長に貢献していくことが重要です。その責任を自覚し、全力で取り組んでまいります。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



《やまもと・さこん》



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員

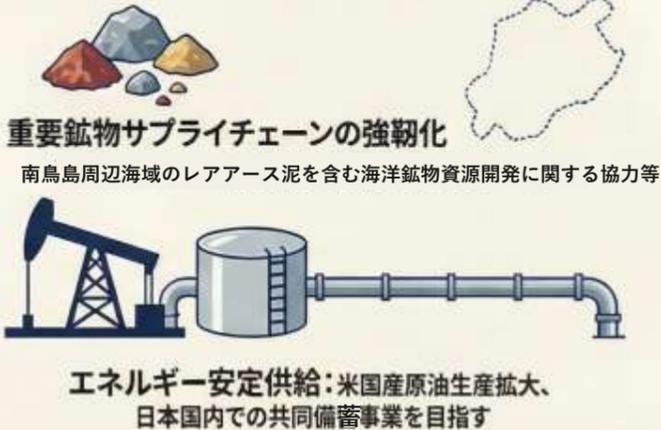
山本左近

# 日米同盟の「新たな黄金時代」

## 高市総理訪米：日米同盟の「新たな黄金時代」へ

2026年3月18日～20日、高市総理はワシントンD.C.を訪問し、トランプ大統領と首脳会談を実施。  
経済安全保障、エネルギー協力、安全保障を柱に、日米同盟を「更なる高み」へ。

### 経済安全保障・エネルギー協力の具体化



### 同盟の強化と国際情勢への連携

**防衛協力の進化と「FOIP」の推進**  
ミサイル共同開発・生産を含む安全保障協力、  
自由で開かれたインド太平洋の推進

米上院議会  
全会一致で採択

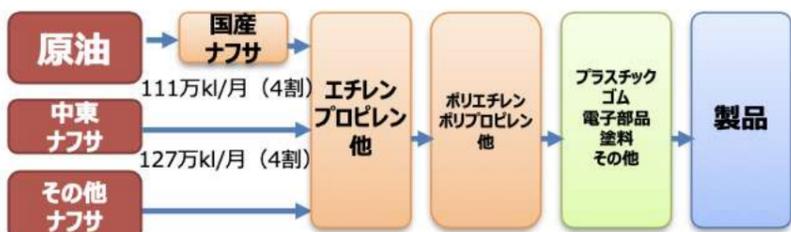
**米議会による超党派の強い支持：**  
訪米を歓迎し日米同盟を再確認

**北朝鮮・イラン問題での緊密な連携**  
拉致問題の即時解決へ全面支持、  
中東の平和に向けて意志疎通。

### ナフサについて

- ナフサは、原油を精製して作られる石油製品の一種。ナフサをエチレン等の基礎化学品に分解、中間製品を経てプラスチック製品等を生産。
- ナフサ調達先は、中東4割・国産4割・その他地域2割。
- ポリエチレン等の製品在庫が国内需要の約2か月分。

### 石油化学のサプライチェーン



### ナフサの調達元 (2024年)

<b>国産</b> 39.4%	<b>中東</b> (UAE, クウェート、 カタール等) 44.6%	<b>その他 輸入</b> 16.0%
--------------------	--	----------------------------



## Breaking NEWS

### ポスターが新しくなりました!!

ポスターを屋内外に掲示いただける方がいらっしゃいましたら、山本左近豊橋事務所までご連絡ください。

←開会中も土日は、地元で活動しています。  
気軽にイベントなどにお声かけください!

## JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ

